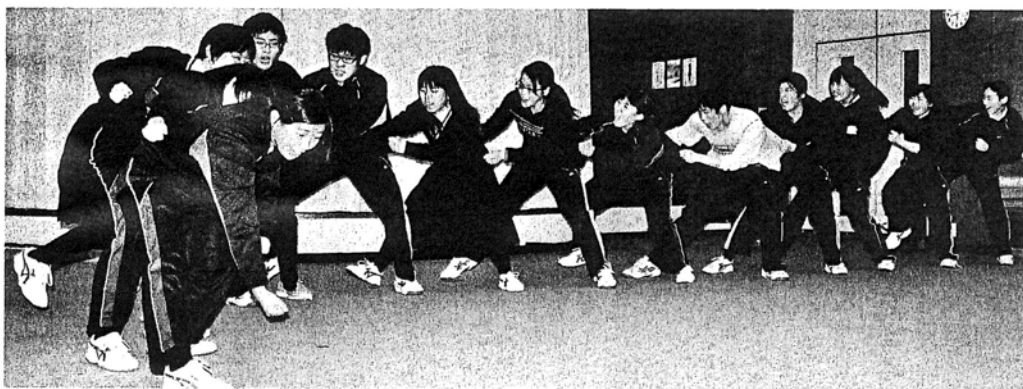


スクール Memory

県立大分豊府高校

週6日稽古 団結力育む



稽古を行う演劇部の生徒たち

全国レベルの「豊劇」

大分豊府高は、演劇の全国大会で最優秀賞を受賞した実績を持つ有力校だ。同高の演劇部、通称「豊劇」の部員たちは、先輩が積み重ねてきた歴史を糧に、演技で多くの人を楽しませようと稽古に励んでいる。演劇部は20年以上の歴史があり、県予選を勝ち抜いた1校だけが出場できる「九州高等学校演劇研究大

会」の常連校。九州代表として出場した2015年の全国大会では、県勢として初めて最優秀賞に輝いた。2年の後輩華部長(17)は「先輩たちの活躍で、他の人からも『(演劇で)大分といえば大分豊府』と言われるほどになった」と胸を張る。

部員は1、2年の計24人。校内の多目的ホールで週6校。次回は大分市立竹中中学校。

(横峯昂)



日、1日2、3時間、稽古に汗を流している。13日の放課後にはジャージ姿で童話「大きなカブ」を題材にした作品を演じた。カブを引き抜くシーンでは「うんとこしょ、どっこいしょ」と声を出し、迫真の演技を見せた。稽古の後は、先輩・後輩の隔てなく、演技や稽古について意見をぶつけ合う。こうして育まれる「団結力」が豊劇の強みだ。

昨年の県予選では、5年続いた九州大会出場が途切れたが、今は大舞台への復帰を目指し、稽古に取り組んでいる。後部長は「日々の稽古や公演を通して伝統を引き継ぎ、後輩たちにつなげたい」と前を見据えている。

顧問の中原久典教諭(45)は「演劇を通じて、部のモットーである『謙虚』『真摯』『誠実』を学び、これからの人生に生かしてほしい」と話していた。

学校データ

所在地は大分市羽屋。県立大分豊府中との中高一貫校で、高校は1986年開校。フェンシング部は男女とも

に団体で全国優勝を経験するなど強豪として知られる。受験シーズン前に受験生らに力をつけてもらおう

と、PTAなどの協力で毎年、「豊府鍋」と呼ばれる豚汁が振る舞われる。全校生徒数は829人。

掲載写真をカラーでお分けします(有料)。読売新聞販売管理部(092・715・5955)か、最寄りの販売店へ。